



# 天文学の扉を開こう

## 4月の夜空

### 太陽系の最果て、さらにその先の天体、ファーファーアウト

先月の連載で、太陽系最果ての天体として「ファーアウト」という天体を紹介させていただきました。ところが、ファーアウトの発表のわずか数カ月後、ファーアウトの記録を破るさらに遠くの天体が発見されたというニュースが飛び込んできました。今回は、この太陽系の最果てのさらにその先に見つかった天体「ファーファーアウト (FarFarOut)」についてご紹介させていただきます。

ファーアウトよりも遠いという意味のファーファーアウトは、ファーアウトを発見したのと同じ研究チームの天文学者スコット・シェパード博士によって発見されました。ファーアウトも太陽-地球間の距離の約120倍(180億km)という、たいへん遠い場所に存在していましたが、ファーファーアウトはさらに遠く太陽-地球間の距離の約140倍(210億km)も離れた場所に存在しています。これは、冥王星(50億km)の4倍以上もの距離です。

もともと彼らの研究チームは、プラネット・ナインと呼ばれ、太陽系外縁に存在すると提唱されている惑星サイズの天体を10年近くわたって搜索していました。そのための観測データの中から、ファーアウトやファーファーアウトが次々と発見されたわけです。ファーファーアウトについては、まだ詳しいことはほとんどわかっていません。軌道の特定にもさらに数年の観測が必要となるでしょう。

ところで、このファーファーアウトの発見は、意外なことに大雪の副産物ともいえそうです。というのも、ワシントンDCが大雪に見舞われ予定されていた講演が延期されたため、シェパード博士が空いた時間に前月に行われたプラネット・ナインの観測データを調べていた時、ファーファーアウトが発見されたからです。

それでは、仮にこれがぐんま天文台だったらどうでしょう？ 大雪が降れば、きっと職員総出で雪かきに大わらわ。観測データを調べるところではないかもしれませんね。

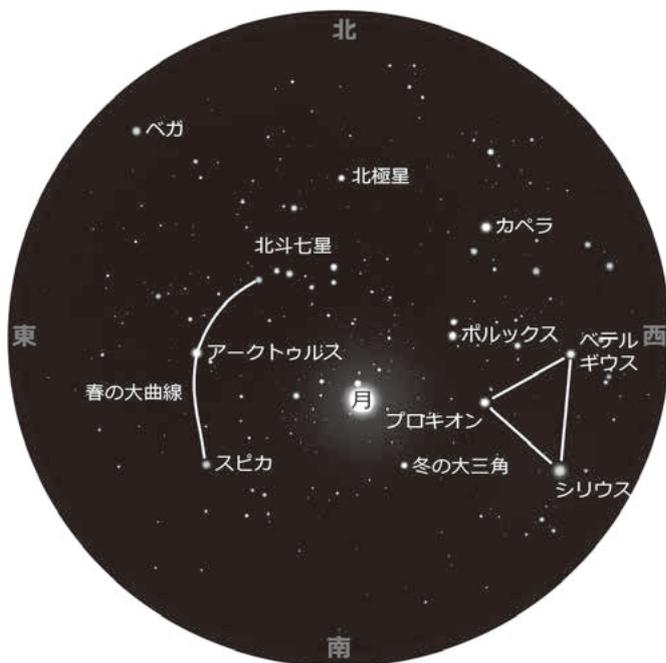


### 4月のぐんま天文台のイベント

- ・13日(土) スマホやデジカメで月を撮ろう
- ・27日(土)～ ゴールデンウィーク特別企画

#### ○星図の説明

4月15日午後9時の高山村の星空。  
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。



フォト  
ショット



～ 祝 卒業 ～

高山中学校



卒業証書授与



卒業生代表 答辞



先輩ありがとうございました！

高山小学校



卒業生 合唱



中学校へ行っても頑張ります！



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(※^\_^) ☎26-7944(直通)



役原 大淵 ゆずちゃん(2歳)

「ゆずの花」は5月・6月に白く美しく咲きます。花言葉は「健康美」。「ゆずの木」は、成長がゆっくりなので…早く大人になるのではなく、パパとママのもとで健康で、家族みんなに見守られながら、ゆっくりゆっくり成長して行ってほしいという思いを込めて名付けてもらいました。

大好きなプリキュアが、変身する時にかかる音楽に合わせて一緒に踊って見せると、みんなが喜んでくれるんだよ！

★パパ・ママだけでなく、じいじ・ばあば、みんなに愛されるまさに我が家のアイドルです！とママ。

こちら「9代目緑のふるさと協力隊」

第25期緑のふるさと協力隊

川添 雄斗

4月高山村に着任した当初は右も左も分からず、初めての土地での1人暮らしはとて不安でした。最初は慣れない環境に馴染めず、村民の方が集まって地元トークをするところに入らず、方言も所々分からないところがあり、置いていかれているような気がしました。また、何事にも一生懸命取り組む思いをもって活動させていたのですが、

「では「具体的にどう頑張るか」という日々の目標がなく、何となく1年が過ぎてしまうのではないかと不安に思ったりしました。

そんな気持ちでいる自分を高山村の方々には温かく迎え入れてくださり、色々とお助けくださいました。そして沢山の皆さんが緑のふるさと協力隊を応援してくださいます。それなので中途半端な気持ちで活動に取り組むのは失礼だと思ひ、途中で辞めようと思つたこともありましたが、そんな私が今日までやってこられたのは、皆さんのおかげです。

高山村に着任するまで、学生だった私に出来ることは少なかつたけれど、活動が終わった後に皆さんの「助かったよーや「ありがとう」という言葉が本当に嬉しく自分にも何か出来るのだと思えて、それが自信に繋がりました。

ありがたいことに多くの方々より、依頼があるので月に1回しか行くことが出来ません。お世話になる方々にとっては毎年同じことや、昨日と同じ作業かもしれせん。だから、自分が行く今日1日は特別な日にしようと思ひました。作業が終わったうえで時間があつという間に感じたり、張り切りすぎて疲れさせるくらいの気持ちで活動させていただきました。

不器用な所があり、ご迷惑をお掛けすることが沢山あつたと思ひますが、高山村の方々は温かい目で見守ってくれました。

私にとってこの1年はとても長く・濃いものとなり、毎日が驚きと勉強でした。皆さんから沢山のものをいただひてばかりでも恩返しは出来ていません。しかし、これから行く先々で力をつけて、高山村、そして皆さんに対して恩返し出来るように頑張ります。

今までも本当にお世話になりました。ありがとうございます。



緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori09.jugem.jp/>